

# 築人 KIZUKU

広報誌

6

No.660

2019 June



2019年度スローガン

## 継往開来

～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り拓く～

JCI  TM  
Junior Chamber International Mizusawa

公益社団法人 水沢青年会議所

# 奥州インディアン旗野球大会

奥州インディアン旗野球大会が今年度も開催されます。

今年度は単純なトーナメント方式ではなく、リーグ戦方式を採用して行います。各チーム最低2試合を行い上位チームが2日目のトーナメントに進めます。導入の経緯につきましては昨年の敗者復活ルールの際に出た意見等を基に委員会で精査した結果、今回導入する運びになりました。また、もう一つが160キロの剛速球を目の前で見ることができることです。今や時代も160キロ時代に突入致しましたので、これを機に皆

さんの目で体感していただきたい、そして将来160キロを目指す子供たちが増えてほしいとの思いで準備いたしました。

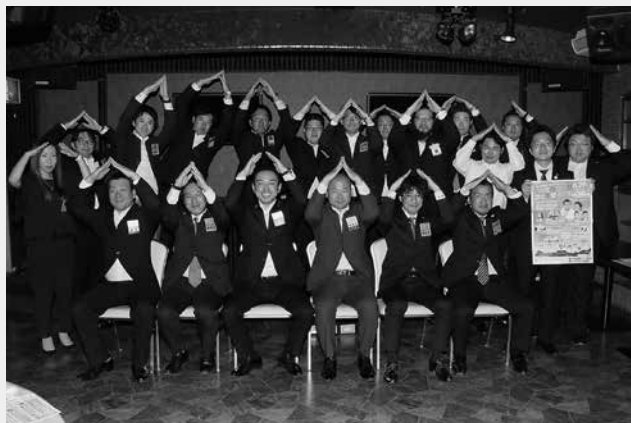
さて、インディアン旗も少子化による影響を受けて参加チームの減少が危惧されていますが、今までとちょっと変わった工夫や思考で取り組みをしながら、参加推進に邁進し、大会の意義付けをより明確化して伝統ある野球大会を今年度もお送りしたいと考えております。みなさんのご協力よろしくお願いたします。

ひとづくり委員会 委員長 千田 長

## 江刺青年会議所合同5月例会

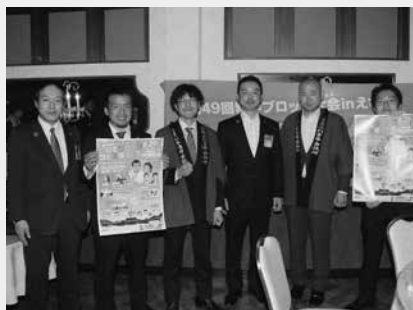
5月24日江刺の地にて、江刺JCとの合同例会が行われました。隣り同士の青年会議所と言えど、江刺JCと交流する貴重な機会となりました。

岩手ブロック大会、いわてワクワクフェスタ2019のPRも行われました。県内でSDGsの取組みを行っている各企業とのビジネスマッチ、多子社会の実現に向けた国民討論会。奥州藤原氏の祖、清衡の時代を感じる藤原の郷で歴史を感じ持続可能な社会の実現に向けワクワクする未来へ!!あと1ヶ月程に迫ったブロック大会に向けて、気持ちを1つにし、決意を新たにしました。思い出される2017年のフォーラムin奥州。この時も江刺JCの方々的一致団結。沢山のご協力の末、



大成功に終えたのは言うまでもありません。今度は私達が恩返しをする番です。あの時の感動を再び!!

ひとづくり委員会 委員 菊池 千都





# カヌー競技、カヌーを楽しめる環境を作りたい

2019年度まちづくり委員会 委員長の高橋健太郎です。

今回、奥州市地域おこし協力隊・カヌー普及推進員の藤野浩太さんにインタビューさせていただきました。

高橋：カヌー競技を始めたきっかけは何ですか？

藤野：元々、父がカヌーの選手でバルセロナ・アトランタのオリンピックに出場したカヌースラローム界ではレジェンドと呼ばれる人で、小さい頃からカヌーが身近にあって父が指導していた大人の方々によくしてもらっていたのが大きいですね。本格的に始めたのは高校生になってからなんです。競技を始めるのは遅い方ですね。その前は野球を少しやっていました。

高橋：いつどのような理由で奥州市に来られたのですか？

藤野：初めて奥州市に来たのは2016年の岩手国体の年です。その年の夏に胆沢カヌーコースで合宿をしていました。当時は、国体選手として愛媛県で活動していました。良いコースがある事を知ってから2年後の愛媛国体が終わった時に、奥州市でカヌーを使った地域おこし協力隊の募集がある事を知って、良い環境があるしやってみようと思って奥州市に移住しました。

高橋：カヌー競技者として胆沢カヌーコースの魅力は何ですか？

藤野：安定した水量がある事と緩急のある川の流れがある事ですね。コースの難易度もトップクラスの環境です。海外にも引き劣らない流れの速さ、波があるのが魅力です。

高橋：地域おこし協力隊の残り2年間でどのようなことをしたいですか？

藤野：競技をやる子供たちを育てるのと協会設立から大会をサポートしてくれるスタッフを増やす活動もしていきたいと思っています。



高橋：なぜ子供たちの育成に力を入れるのでしょうか？

藤野：胆沢のカヌーコースを残していくうえで競技をする人が多くいる事が大事なんです。そこで子供たちが多くなってくると地域の活性化にも繋がると思うからです。

高橋：地域おこし協力隊終了後の展望はありますか？

藤野：どうなるか分かりませんが、奥州市にそのまま留まる方法を探したいと思っています。この環境を残していきたいと思っていますし、カヌー競技、カヌーを楽しめる環境を作れたらなど。



奥州市地域おこし協力隊  
カヌー普及推進員 藤野浩太

東京都青梅市出身。高校1年生の時に本格的にカヌースラローム競技を始める。大学在学中U23日本代表に選ばれ、その年のJr.U23世界選手権に出場。大学卒業後は国体選手として活躍。長崎国体・愛媛国体で入賞経験あり。カヌー教室などで子供たちへの指導経験豊富。2018年4月より奥州市地域おこし協力隊の委嘱を受ける。



## Next event Schedule

〈今後のスケジュール〉

### 6月〈June〉

- 1日(土) 岩手ブロック協議会会員会議所会議 陸前高田
- 2日(日) 岩手ブロック 野球大会
- 9日(日) フラワーロード全体作業
- 23日(日) 公益社団法人カシオペア青年会議所 50周年記念式典
- 29日(土) 岩手ブロック大会 in 江刺

### 7月〈July〉

- 6日(土) ~ 7日(日) アカデミー第三講座
- 15日(日) まちづくり委員会事業 カヌー体験会 ~この夏は新しいスポーツに挑戦!~
- 20日(土) ~ 21日(日) サマーコンファレンス2019
- 27日(土) 岩手ブロック協議会 会員会議所会議 大船渡

## 編集後記

今年の奥州春まつりも盛り上がり、熱気が冷めやらぬ今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回、広報誌「築く」の担当をさせて頂き、初めて総務広報委員会の仕事に携われたような気がいたします。

まだまだ、青年会議所がどんな団体なのか理解できていない部分が多いので、これからも多くの活動に積極的に参加して沢山の方と出会い学んでいきたいと思っております。

そして、奥州市、水沢青年会議所のカになれるよう努力してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

総務広報委員会 委員

菅原 拓

## 会員募集

### 水沢青年会議所の仲間に入りませんか？

地域の青年のみなさん！他業種の、それも同年代の人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の輪を広げてみませんか？そうした事の出来る団体が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共に考え活動していきましょう！

修練・奉仕・友情を信条とし、よりよい社会づくりを目指す。

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

表紙写真

江刺青年会議所合同5月例会

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております！

〒023-0818 奥州市水沢東町4 (水沢商工会館3F) TEL 0197-24-2641 FAX 0197-22-6421  
ホームページ http://www.229jc.jp E-mail : room@229jc.jp